

一般社団法人獨協大学同窓会 定時社員総会議事録（公開版）

日時：令和6年11月23日（土）午後1時から2時10分

場所：アットビジネスセンター池袋別館802号室

会議形式：オンライン会議

運営会場出席者：大西会長、菅沼副会長、山本副会長、金井専務理事（4名）

オンライン出席者：（理事）飯塚、黒木、百田、柘植、佐藤（5名）

（代議員）高木、大坪、奥山、前田、柳田、河野、亀崎、澤田、田井中（9名）

書面行使：（理事）高橋、（代議員）中田（2名）

欠席：（代議員）長岡、佐久間（2名）

委任状はなし

（代議員数は22名で過半数は12名）

オンライン出席：（監事）富岡、友安、中島

オンライン陪席：（選出管理委員会）新家委員長と片桐委員

オンライン傍聴：（専門委員・次期代議員）中島、植村（次期代議員）山本博樹、市村

議事録作成者：金井芳夫

（ 議 事 概 要 ）

1. 開 会

大西会長が獨協大学総会の定時社員総会を開催宣言した。

2. 臨時社員総会の成立確認

（金井専務理事）代議員22名中出席者18名。書面行使が2名で合計20名です。

（大西会長）22人中20人で過半数を超えていますので、この定時社員総会は適正に成立しているものと認めます。

3. 議事録署名人の選任

（大西議長）議事録署名人は亀崎さん、柘植さんを選任。

4. 決議事項

（1）令和6年9月期事業報告承認の件

（大西会長）令和5年10月1日から令和6年9月30日までです。コロナ禍がほぼ収束し、同窓会活動も日常が戻ってきた。大学の授業も行事もコロナ禍の前に戻り、同窓会活動もほぼ元に戻った。支部活動も全国27支部中、20支部で総会が開催されるなど活発になり、また6月8日には大学内にできた新施設もコミュニティスクエアで同窓会員の集いを。開催し、約70人が参加した。この日、ここへ行けば昔の仲間に会えるというコンセプトで行いましたが、第1回としてはまずまずだったと思います。来期以降も続けていければと思う。同窓会の新入会員の加入率は前回前年と同様に60%で、2年前の70%から回復していない。今後、少子化の影響で入学者数が減少する可能性もあり、可能性が高く、卒業生数も減少し

ていくと予想されている。大幅な収入減となる可能性もあり、今期検討した同窓会費の改定についても現実的な選択をする必要がある。

事務局の運営方法についても、現在の株式会社利用者に業務委託する形から同窓会が独自で職員を雇用する形への移行を目指したが、成し遂げることができなかった。今後は大学から部屋代が請求される予定で、さらに現在株式会社デュオに業務委託費として含まれて。支払っているコピー機も同窓会が契約するように遠方する法律が変わり、名簿管理も大学が行うか共同管理する必要があることなど新たな課題も出てきた。また、大学は職域の会との融合を望んでおり、今後はこういうことも検討する必要がある。

審議事項（１）令和６年９月期事業報告の件：異議なく承認された。

（２）令和６年９月期決算書類承認の件・監査報告

（金井専務理事）貸借対照表・収支計算書を共有。57期の計算書です。収入は5300万円。若干プラスが出てます。アルバム機材購入積立戻金と大学施設拡充積立戻入金があり、収入全体としては5300万円。支出の方は例年とほぼ同じところで大きいところでは、業務委託費、会報編集費、アルバム経費です。

会員変動準備金繰入300万円、アルバム機材購入積立金繰入48.8万円、大学施設拡充積立金繰入100万円を繰り入れました。7ページが決算の詳細です。予算との比較をここでは見てください。前期は5900万円の予算を組んで、決算は5200万円です。

（富岡監事）監査報告：令和六年11月5日の会計監査において、一般社団法人獨協大学同窓会第57期事業年度令和五年10月一日から、令和六年9月30日までの決算について、決算書奨学金特別会計、小流会特別会計を含む及び帳簿、通帳、証拠書類など関係する書類を監査した結果、帳簿の記入通帳や証書証拠書類の整理保管現金の出納は確実に処理されており。その係数が正確で、終始ともに適正であることを認めましたので報告いたします。

（金井専務理事）特別会計の方で奨学金特別会計の報告。令和六年9月30日で締めた時の次期繰越金が1400万円です。縦柳会収支は次期繰越金が440万円です。

審議事項（２）令和６年９月期決算書類承認の件・監査報告：異議なく承認された。

5. 報告事項

（３）令和７年９月期事業計画

（大西会長）毎月開催している理事会に加えて、大学と共催のホームカミングデー支部代表者会議等が予定されている。さらに、各支部の総会も今年以上に開催されると思う。主な活動予定は下記の通りです。すでに11月2日、3日のところまでは行われています。

（沢田代議員）現在の事業計画だと単にスケジュール的なものになっている。活動全般で今後強化していく部分とかですね。そうした方向性。をしっかりと書いてください。委員会ごとに活動計画とか特に強化する部分とか、そうしたものを具体的に委員会ごとに出していただくというような方がいいと思います。事業報告で年度を振り返るときに、あの年に何がで

きて何ができなかったのかというのをはっきりしてきます。皆さんで議論する材料にもなると思うので、予算とリンクしますので拡充していただければと思う。

(4) 令和7年9月期一般会計予算

(金井専務理事) 来期第58期の予算です。会費収入は、卒業時にいただく会費で3300万円。初年度受入金は、入学時にいただくもので卒業する時に入金していて2000万円。一人当たり1万円いただいています。来期戻し入れは組んでませんので第58期予算としては53,823,000円です。前期実績と比べ予算は200万円ほど小さい。支出の方ですが、一番大きいところが業務委託費。こちらは370万ほど減額した予算です。会報が2400万円。送料が値上がったことで2回分を含めて180万円ほど増額した予算です。アルバム経費は昨年よりは100万円ほど小さい予算です。

(5) 令和7年9月期奨学金特別会計予算

奨学金特別会計予算です。6.9月期実績260万円、予算が7.9期の260万円です。

(6) 令和7年9月期縦柳会特別会計予算

縦柳会の特別会計の予算です。6.9期実績で10万円の前期は寄付をいただいています。

(高木代議員) 13ページ予算書でアルバム経費がだいぶ予算を下げたということなんですが、これは具体的にどうやって下げたんですか。

(金井専務理事) アルバム経費で前期が1028万円という実績です。印刷会社を見直すということで4年ぶりに相見積もりを取り、卒業アルバム委員会、大学関係者を含めて選定委員会を開き、新しい印刷会社を選定した。新潟の博報堂という会社です。理事会ではご審議いただき承認をいただいています。

(7) 令和6年9月期株式会社デュオ決算案

(8) 令和7年9月期株式会社デュオ予算

(大西会長) 事業報告、当期売り上げは32,009千円で、前年対比1,238千円の減収だった。主な原因は売り上げの減少。また、2020年、21年と同窓会から業務委託費の増額や新型コロナウイルスによる持続化給付金の給付で経営は安定していた。今期も従業員の減少で人件費が抑制されたが、来季は不安定になる。未投資どう立て直すかが茨の道だと思う。一般社団法人獨協大学同窓会と株式会社デュオが業務委託契約を結ぶ形での契約が見直す必要がある業務委託の人に契約している業務以外の指示ができない制約がある。また、同窓会は会員から預かった会費で運営されている組織なので、同窓会が独自に人を雇って経営する形を目指している。株式会社デュオもそれに対応して事業の再構築を急ぐ必要がある。セブンイレブンやかおる不動産は今後も管理費の値下げを申し入れてくる可能性がある。袴のレンタル事業は順調だが、今後は学生数が減少する可能性があることから、発展の余地があまりないと事業拡大の余地があまりない。昨日、株式会社デュオの株主総会を開き、ご承認いただいたが今後どうするかはこれから一生懸命考えていこうということで厳しい状況にあることは認識している。

(百田理事) 今期の10月からのデュオ社の計画というのはなんかきてるのか。

(大西会長) 株式会社デュオは予算計画等立ててない会社で、現在のところはございません。前年の流れでやっているというところで、昔のやり方がまだ続いているのでそのあたりは課題かと思う。

(9) 支部代表者の変更

支部代表者の変更については資料をご覧ください。

4. 決議事項の続き

(大西会長) 決議に戻り、(3) 理事・会長候補者の選任の件について。(4) 監事追加候補者の選任の件について。選出管理委員会からご報告をお願いします。

(新家選出管理委員長) 片桐委員も出席していますので、私からご挨拶させていただき、詳細は片桐委員から報告します。理事の方ですが先日理事の信任投票を行いました。立候補されたのは5人で全員信任された。監事1名の追加募集ですが、同じく信任投票をして、友安さんが監事として信任された。会長候補も立候補者を募ったが立候補者がいませんでした。

(大西会長) 選出管理委員から会長候補の立候補なし。理事5人の選出でしたが、執行部もできれば早く次期会長を決めてバトンタッチをしたいのでいろいろ検討研究した。専門家のリーガルチェックを受けました。会長候補者の選出は選出管理委員会が定款や規約に応じて行われるもの。それから立候補者は推薦書をつけて立候補届を選出管理委員会に提出し、候補者として認められる必要がある。それから投票は新代議員によるものと規程されている。それから選出管理委員会が投票を開封する必要がある。上記のプロセスを経る必要があるということをリーガルチェックで指摘された。さらに現時点では誰も立候補していないのでこれは決選投票にも当たらない。それから立候補投票の有資格者全員に公平に機会を与えなければならないということがある。それから選出に関しては選出管理委員会がやるということであると。それからいろいろな日程等もあるが、日程等もちらがこういうふうにやりたいというだけでは、なかなかできない部分もあり、そのあたりはすり合わせて、できるだけ早く次期会長を決めていただきたい。

(片桐選出管理委員) 理事は5名の立候補があり、新代議員による信任投票を実施した。11月8日金曜日を締切、その後、選出委員会が開票作業を行っています。信任投票の結果、投票総数が21票。白票が一票で有効投票数は20票でした。全員信任という票が13票で、不信任と書かれているものが7票でした。理事候補者の全員が有効投票数の10以上の信任を得たので、代議員並びに役員選出規程第五条十項に基づき、菅沼豊さん、百田克己さん、柳田茂光さん。黒木晋さん、柘植義信さんが理事当選者となっています。会長候補者は立候補がありませんでしたので、会長再選出についてこの後で会長候補者、理事の選出について説明します。以上、理事当選者につきまして、ご審議のほどよろしくをお願いします。

(大西会長) 理事は、総会で承認を得る必要があります。この5人の理事の方、全員信任されていますので、ご承認をいただきたい。5人の理事候補の方、理事にご承認いただけますか。

(代議員多数) 異議なし。

(大西会長) 異議なしと認めまして、5 人の方、新理事として認められたということをご報告します。続きまして、監事です。

(片桐選出管理委員) 監事の追加募集ですが、1 名の立候補がありました。現代議員による信任投票を実施しました。10 月 30 日に投票を締切、その後、選出管理委員会で開票作業を行ってます。信任投票の結果、投票総数 18 票、白票が 2 票で、有効投票数は 16 票でした。そのうち新任が 14 票、不信任が 2 票でした。こちらも監事候補者が有効投票数の 10 以上の信任を得たことから、役員選出規程第七条 11 項に基づき、友安俊明氏が監事当選者となりました。以上、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

(大西会長) 友安さんを監事としてご承認いただけるか、お諮りしたい。

(代議員多数) 異議なし。

(大西会長) 異議なしと認め、友安さんの監事が認められたことを報告します。

(大西会長) 続きまして、会長候補の選出ですが、先ほど申し上げた通り選出のプロセスがありますので、それを経る必要がある。4 年前にもやり直しがありましたので、瑕疵のないように選出をしたい。そこで 1 月下旬に臨時社員総会を開催して、そこでご承認をいただくことで選出をしたいと思う。総会の開催日程は理事会で決定すると定められており、本日この後理事会がありますので、そこで審議して決定することをお願いしたい。

(片桐選出管理委員) 先ほど会長の立候補者がいなかったと報告した。こうなると代議員並びに役員選出規程の第六条 11 項に基づき、再度立候補を募り、会長候補者の再選出を次のスケジュールで実施することを選出管理委員会で検討しました。まず、11 月 25 日、週明けの月曜日に同窓会ウェブサイトで告示、それから新代議員へ立候補届出書、推薦書の書類を郵送します。その後、12 月 6 日金曜日に立候補の締切とします。その後、12 月 9 日月曜日に立候補者が一名だった場合は信任投票。2 名以上の場合は選挙ですので、その投票用紙を皆様に郵送します。その後、12 月 20 日金曜日に信任投票等の投票の締切。会長の場合は決選投票という可能性もあるので、決選投票となった場合のスケジュールもここで合わせて報告します。決選投票の場合、12 月 23 日の月曜日に決選投票用紙を皆様に送ります。年末年始を挟みまして、1 月 10 日金曜日に決選投票の締切。その後、1 月中旬頃にかけて私ども選出管理委員会で決選投票の開封、会長候補者の当選者の選出が最もスケジュールとしてかかるということです。会長候補者の当選者は社員総会へ報告する必要があります。そのため選出管理委員会としても、1 月下旬以降に速やかな臨時社員総会を開催していただくように、理事会へ要請をさせていただきます。このスケジュールについては、来週 11 月 25 日に新代議委員に郵送する資料にもお付けしますので確認してください。

会長候補者の当選者がいないこの状況につきまして、参考まで説明を申し上げますと代議員並びに役員選出規程第六条 11 項に次の通りあります。会長候補者が選出されるまでは、前会長が暫定的に会長を継続する。会長が欠けているときは、現業務執行理事の中から暫定

的に会長代行を選出する。参考までにお知らせをする次第です。

(大西会長) 1月下旬に総会を開くまで暫定会長ということですが、規程によると私になるが、大変申し訳ございませんが体調も非常に悪く暫定会長をできる状況にございません。大変恐縮ですが、会長がかけた時という状況を適用していただき、会長がかけた時の代行ということであらかじめ決めてある菅沼副会長に代行をお願いしたい。

(菅沼副会長) 規程に則って会長の代行として新会長が決まるまで責任を持って役割を務めたいと思う。よろしく願いいたします。

(黒木理事) 規程の中には当選者がいなかった場合、再度立候補を募るというのはあるんですが、立候補者がいない場合っていう規程はない。その辺の解釈はどうされてますか。

(大西会長) それは会長が欠けているというのと同じということですので、私どもがお示した形でやらせていただきたい。

(黒木理事) 規程の変更は必要ないということですね。立候補者がいない場合という追加は全くいらぬということですね。

(大西会長) 今のところは必要ないということです。

(高木代議委員) スケジュールに関して質問です。片桐さんが説明したスケジュールについて、日付を追って提示していただきましたが、その期間というのはどうしても必要な期間なんですか。決選投票になった場合を見越して、1月下旬に臨時総会をやるスケジュールになるという話なのですが、決選投票にならなかった場合は促進できるというふうに考えていいのでしょうか。

(片桐選出管理委員) 決選投票にならない場合の促進というのは、総会の日程を前倒しということですか。それは私どもではなんとも。

(高木代議委員) いずれにしる臨時総会をやって、そこで正式決定になるわけですね。1月下旬まで待たなくてもできる可能性はあると。

(大西会長) それについては理事会で総会の日程を決めなければいけないので、そう簡単には決められない。瑕疵のないようにプロセスを経て選出をして、一発で決められるようにしたいので、多少そこのところは日程的にいろいろあるかもしれないが最短でここできると模索した結果です。

(高木大議員) それは決選投票になった場合のことをもう想定してですね。そうでなかった場合にはもちろん理事会で決めることですが、1月下旬より前倒しできる可能性はあると理解していいんですか。

(大西会長) 物理的にはありますが、そこは新しい執行部の暫定会長の理事会で検討していただく方がいい。

(大西会長) 最短で1月下旬が今のお示ししているスケジュールです。

(大西会長) 続きまして、理事についてです。理事が現在5人の立候補ですが、当初5人では少ないという意見もありました。ただ、定款や規程で定められている理事の定員が5人から15人ということで、今回の選出で理事の定数は満たしており、欠けている時には当

らないので、この状況で追加の選出はできないというのが皆さんやリーガルチェックを受けた結果の意見でした。会長候補の先ほどの点に加え、理事は郵便で投票することになっていることもあり、その場で決めるとなかなかそういうことはできない。考えられる対処として、1月下旬の臨時社員総会で定員を定款と規程で修正して直後に公示という形で即募集をするのが一番の近道だということです。その場合、定員とか規程を修正しますので、事前に理事会での審議が必要になる。そこはきちんとプロセスを経てやっていただきたい。プロセスを外すと瑕疵がでて無効になってしまい余計時間がかかることもあるので、面倒とは思いますが、そういう形でやればと考えてます。これも次の理事会で調整いただきご審議いただきたいと思う。

(飯塚理事) 代議員並びに役員選出規程は、先ほど言った令和5年6月に改訂されているということなのですが、これは代議員の皆さんに配布されたんですか。

(大西会長) 皆さんに郵送するように事務局にはお願いしたんですが。

(飯塚理事) そうですか。今、ホームページに載ってる役員並びに役員選出規程は前の規程ですよ。

(大西会長) 大変申し訳ございません。アップデートを指示はしたんですけども。

(飯塚理事) わかりました。指示してその確認を怠ったということですね。

(大西会長) 審議事項は以上です。あと、報告事項の一番目ですが9ページです。現代議員の皆様、本日もちまして任期満了で退任となりますので報告いたします。

(前田代議員) 前は一日のうちに、旧代議員と新代議員の入れ替えをやってたと思うんですが、新大議員の方は今回呼ばなかったんですか。

(大西会長) 傍聴を呼びかけてます。本日の社員総会は現代議員が総会終了時まで任期です。

(大西会長) 私は3年11ヶ月でしたが、同窓会の会長をやらせていただき、皆様のご協力がなければできませんでしたので、重ねて御礼申し上げます。これからも獨協大学同窓会、ぜひ前に進められるように、次の代議員の皆さんよろしくお願ひしたい。それでは本日の定時社員総会はこれで終了します。

以上